

最優秀賞

堀 旭宏 殿

貴殿は、プロジェクトにおける貢献ガイドラインが遵守されているかどうかを自動で検査する手法のフィジビリティスタディに取り組みました。貢献ガイドラインは、様々な開発者が関わるオープンソースプロジェクトにおいて、効率よく活動を進めるための規律を定めた重要なものです。同様の規律はもちろん企業開発においても存在します。それら規律の遵守度合いを確認することで、規律の有効性や、開発者や開発活動について現状を把握し、改善につなげることが期待できます。堀さんの具体的な取り組みとして、GitHub の代表的なプロジェクトにおいて、Pull Request、すなわちコード更新提案の際に必要な手続きを定めたガイドラインを対象とし、その遵守を自動検査するワークフローを構築・分析しました。ファジーな言語処理に関する自動化の限界を明確にしつつも、ほとんどの観点において自動的な遵守検査を実現し、実際の Pull Request の遵守状況の検査・分析も行ったことで、十分な意義があることを確認しました。エンジニアの活動もデジタルの世界でとらえ、活動の可視化や分析、改善を目指すという、先進的でユニークである取り組みをしっかりと行った点が非常に高く評価されました。

以上を高く評価して最優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一